



さかわ戦隊
キコリンジャー通信

「3年の任期を終えて」

こんにちは、自伐型林業地域おこし協力隊の斉藤光です。

3年前に佐川町に妻と当時1歳の娘を連れて、移住してきましたが、あっという間に月日が経ち3月末で任期満了です。娘も4歳になり、バリバリ土佐弁をしゃべっています。

1年目の時は、生まれて初めての山作業に困惑したり、ヘトヘトになったり、花粉症で大変な事になったり、ちょっとしんどい思いをしたりもしました。

しかし27年住んだ東京を離れ、高知県の佐

川町に移住した事は人生で一番いい判断だったと思ってます。そう思うほどに僕にとって佐川町での生活は素敵でした。ほんとですよ！

佐川町、そして佐川町に住む皆様には感謝の気持ちでいっぱいです。

4月以降も佐川町で林業をやっていきます。佐川町、そして山にも少しずつでも貢献していきたいと思っております。これからもご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願いいたします！

<3年間で出来たこと>

- ・ゼロから林業のお勉強（一番大変でした）
- ・子供が林業を楽しめるイベント「キコリパーク」実施
- ・佐川駅前に出来た古本屋 Bar「貉藻」の立ち上げ
- ・牧野公園写真コンテスト入賞





チーム佐川 監督メッセージ

～ひとりごと・つぶやき・ボヤキ～

「子ども論語塾 in 斗賀野小学校」

昨年9月から、斗賀野小学校の5年生が論語を勉強することで、日常生活を振り返り、自分自身の良さや頑張りを認める心を育てる取組みにチャレンジしています。担任である吉門修平先生が情熱をもって取り組んでいる授業はとても素晴らしく、朝の会での素読や論語カルタ大会、論語の習熟度に応じた認定証書の授与など、子供が楽しく学べるように工夫を凝らしてくれています。1月28日に一年間の取り組みを総括する授業を見に行きました。論語を覚えてすらすらと皆で素読をしている姿や、生徒それぞれが頑張っていること、努力し

ていることについて話をしている姿に感動しました。

論語は2500年ほど前の時代を生きた孔子先生の言葉を弟子達がまとめたものです。昔も今も、人の間で生きることに変わりはなく、思いやりの心、感謝の気持ちを持って、お互い様で支え合って生きていくことが大切だと思います。斗賀野小学校5年生の学びが、すべての子どもたちにも広がり、さらには大人にも広がり、文教のまち佐川として論語に親しむ町になることで、穏やかで幸せなまちになるのではと楽しみにしています。吉門先生、ありがとう！

チーム佐川 監督 堀見和道（町長）

〇月〇日 晴れ 堀見和道

佐川町の観光拠点よりホットな話題をご紹介します

観光・イベント情報・お土産・古民家カフェ

一般社団法人

さかわ観光協会

ぽとステーション

公式 Facebook



3月のお休み
9月、16月

【さかわ観光協会】
佐川町甲1472番地1
旧浜口邸内
☎0889-20-9500
9:00～17:00

休館日：月曜
(祝日の場合翌日)

牧野公園さくらまつり

会期：3月20日(金)～4月5日(日)

ぼんぼり点灯／売店営業

売店営業時間：10時～20時30分
(天候により変動あり)

【さくらまつり期間イベント一覧】

- ❀ さくら祭り絵馬@物見岩で願掛け
日時：3月23日(月)～4月5日(日) 11時～
- ❀ 牧野公園お花見ライブ ※雨天中止
日時：3月28日(土) 13時～14時
- ❀ 大道芸パフォーマンズ ※雨天決行
日時：3月28日(土) 14時～16時
- ❀ 折り紙で作る桜の小枝 ※雨天決行
日時：3月28日(土) 10時～16時

- ❀ 桜の下でさかわ茶を味わう
日時：3月28日(土) 10時～15時
※雨天の場合は、29日(日)に延期します
- ❀ 司牡丹の酒粕詰め放題！
日時：3月28日(土)・29日(日) 13時～15時
- ❀ 第12回宝探し大会 ※少雨決行 ※雨天中止
日時：3月29日(日) 10時30分頃～整理券配布
- ❀ 古民家でお抹茶
日時：4月3日(金)～5日(日) 10時～15時

詳細はさかわ観光協会 HP【さかわの葉】をご覧ください。 問 さかわ観光協会 電話 20-9500

3月 地域のイベント情報

●第6回おがわ桜祭り

日時：3月22日(日) 10時～15時

場所：ふれあいの里 尾川

問 集落活動センターたいこ岩 電話 20-9316

●第5回尾川さくら祭りウォークラリー

日時：3月22日(日) (受付)10時～ ※雨天時中止

集合：集落活動センターたいこ岩

問 集落活動センターたいこ岩 電話 20-9316
健康福祉課ふれあい係 電話 22-7716

地域おこし協力隊の 観光協会 日誌 古澤大

地方観光地の成功事例を研修や本で学んでいると、共通点があることに気づきます。新たにモノを作るのではなく、今ある地域資源に磨きをかけ、付加価値を生み出し、商品やサービスとして活用していくことです。佐川でも高齢化で作り手がなくなった田畑を使用し、お米や野菜を栽培して販売している団体さんがいらっしゃいます。先日地域の方の紹介で新年会

に参加させて頂き、活動内容や活動方針を学びました。こんにやく作りもされていて、先日人生初の手作りこんにやくを堪能しました。「今ある資源に付加価値をつける。」成功事例を学んでも、実行することは難しい。やるべきことを実行している方から学ばせて頂く、貴重な機会を頂きました。自分の活動が机上の空論で終わらないよう、しっかり実践を通して学びたいと思います。